

萩博物館企画展

なつかしい萩

日本のふるさと

～1930年代の映像・絵画から～

平成22年 **12月11日**(土)～

平成23年 **4月10日**(日)

 **萩博物館**

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地
TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142
URL <http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料：大人500円 高校・大学生300円 小・中学生100円
[団体割引20名以上20%・障がい者割引20%]

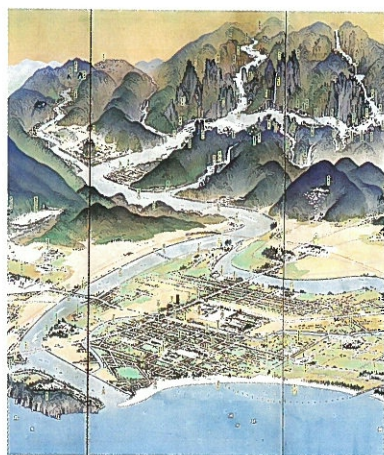
駐車場：有料 普通車66台(1回300円)
バス8台(1回1,000円)

※萩市民は無料



はじめに

「美しい日本の町」、「なつかしい日本のふるさと」と形容される「まち」萩は、どのようにして形作られてきたのでしょうか。その萩の「まち」で、人々はどのように暮らしてきたのでしょうか。1930年前後の映像や絵画などから、私たちのふるさとの原型を探ります。



市制施行時に制作された「萩市鳥瞰図」(1932年)

全国に鉄道網が整備される中で、多数の観光鳥瞰図を描いた吉田初三郎の大作。史跡や桜の名所、海水浴場などとともに、萩焼販売店や旅館などが記されています。



萩史蹟産業大博覧会
ポスター・絵葉書類
(1935年)

萩の史跡紹介と萩市経済の活性化を促すことを目的に博覧会が開催されました。萩町当時から史跡保存と顕彰の動きが一層活発化しました。



香川津の渡し



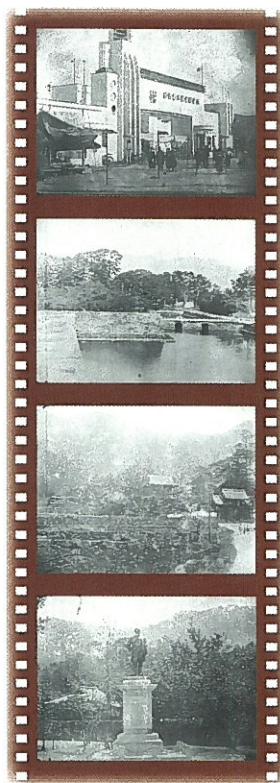
山陰本線全通祝賀



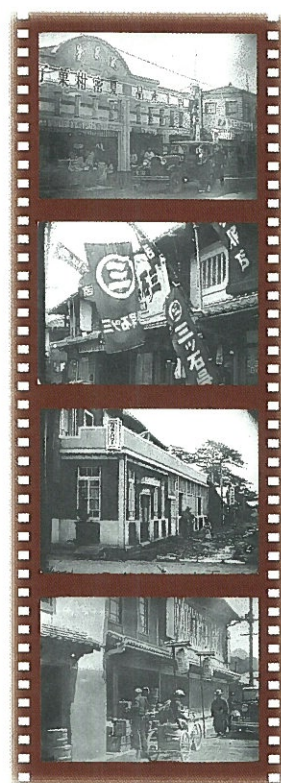
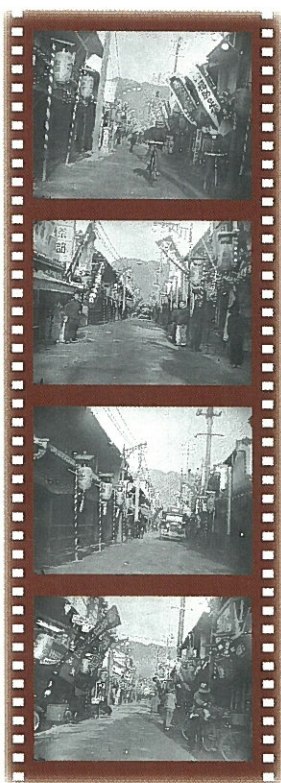
川島堤の桜



住吉祭り踊車巡行



萩史蹟名所紹介
映画(1935年)



初公開。萩史蹟産業大博覧会会場の様子や、萩の史跡、商店街や宿泊施設が撮影されています。当時の賑わいを記録した史料としても貴重です。

1930年代撮影「ふるさと・萩」写真

1930年代に撮影された多数の古写真からは、心豊かな「ふるさと」の暮らしが見えてきます。

ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

日時：平成22年12月11日(土)、
平成23年1月8日(土)、2月12日(土)、
3月12日(土) 午後2時から(約1時間)
定員：20名
参加方法：開始5分前までに企画展示室入り口にお集まりください。

交通アクセス

- ◎JR東萩駅よりタクシー10分／徒歩30分
- ◎萩バスセンターより「まあーるバス」西回り10分「萩博物館前」下車すぐ
- ◎中国自動車道山口ICより60分 美祿東JCTより50分
- ◎山陽自動車道防府東ICより70分

